

## 下野市行政改革推進委員会 議事録

- ・ 審議会等名 令和2年度 第3回下野市行政改革推進委員会
- ・ 日 時 令和2年11月19日(木) 午前9時00分から12時00分
- ・ 場 所 下野市役所 2階 203会議室
- ・ 出席委員 中村祐司会長、小池隆男委員、手塚英男委員、金田幸子委員、橋田一成委員、川俣一由委員、角田充仙委員、宮下明枝委員、小島恒夫委員、蓮見忠夫委員
- ・ 欠席委員 植草英一郎委員
- ・ 市側出席者 (教育委員会) 清水教育次長、近藤教育総務課長、神田課長補佐、若林スポーツ振興課長、坂巻主幹  
(建設水道部) 瀧澤建設水道部長、保沢建設課長、鈴木主幹  
(産業振興部) 栃本産業振興部長、伊澤商工観光課長、関課長補佐、松本課長補佐  
(事務局) 荻原課長補佐、甲田主査、菊地主事
- ・ 公開・非公開の別 (  公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 )
- ・ 傍聴者 なし
- ・ 報道機関 なし
- ・ 議事録(概要) 作成年月日 令和2年12月18日

### ○次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 議事録署名人の指名
  - (2) 行政評価市民評価事業ヒアリング
  - (3) 全体協議
  - (4) その他
- 4 閉 会

### ○開会

(事務局) 令和2年度第3回下野市行政改革推進委員会を開会いたします。

### ○あいさつ

(事務局) 開会にあたりまして、中村会長よりご挨拶を申し上げます。

(中村会長) 本日もヒアリングの時間が2時間30分と長丁場になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

### ○議事

- (1) 議事録署名人の指名

(中村会長) 今回の議事録署名委員を指名させていただきます。小池委員、金田委員にお願

いたします。

## (2) 行政評価市民評価事業評価ヒアリング

### ①小中学校コンピュータ管理事業

[所管課自己紹介]

[資料に基づき説明]

(蓮見委員) コロナウイルス感染症の影響もあることから、本事業の必要性は高まっていると思います。オンライン教育を行うにあたって研修やマニュアルが重要だと思います。また、ウイルス対策や情報漏えいの対応として、ウイルス対策ソフトの活用や業者による指導があると思いますが、どのような取組みを行っていますか。

(近藤教育総務課長)

各学校に情報システムに精通した教師がいるため、その教師を中心に研修を行うことを考えています。毎年度のフォローアップも検討しており、活用状況を取りまとめ、目標未達成だった学校には ICT 活用の研修を受講してもらうことや、教師へ活用指導力調査を行い、必要に応じて研修を行っていくことを進めていきたいと思います。また、セキュリティ対策について、オンライン学習のため生徒がタブレットを自宅へ持ち帰ることもありますので、無制限に検索や閲覧ができるような状態ではなく、学習に関係する内容のみ検索や閲覧可能とするよう制限を設けていきます。

(清水教育次長)

フィルタリングソフトを利用していきたいと思います。

(川俣委員) コンピュータの台数について、一台を何人で利用していますか。事業概要に各学校への導入台数が記載されていますが、生徒数のバランスを考慮して導入していますか。

(近藤教育総務課長)

事業概要に記載している台数については、GIGA スクールの際に導入される台数とは異なっており、プログラミング教育や総合学習の際に利用するためにパソコン教室等に配備されたコンピュータになります。授業の際には一人一台使えるように配備しています。

(宮下委員) 2024年度にデジタル教科書を目指すという文部科学省の構想のことでよろしいですか。

(近藤教育総務課長)

デジタル教科書だけでなく、オンライン授業等デジタル機器を使った様々な活用を予定しています。

(宮下委員) 一人一台タブレットが配備されるということについて、いつまでに全児童、生徒に配備されますか。

(近藤教育総務課長)

令和3年3月までに配備されます。今年度中は学校内のみの活用になり、持ち帰りはできません。

(宮下委員) IMD 世界競争力センターで行っている「世界デジタル競争力ランキング」では、

日本は23位であり、項目別で見ると63の国で最下位の項目があります。「携帯通信の加入者」と「高等教育における教員と生徒の比率」の項目は1位であり、日本の教育環境は良いと考えています。しかし、大人側の問題として「国際経験」や「企業の機敏性」、「ビッグデータの活用と分析」等の項目が最下位です。そのため、本事業とは異なるかもしれませんが、下野市では地域の連携や国際的な視野を取り入れることにどのような認識を持っているか伺いたいです。

(近藤教育総務課長)

今までは対面での授業を重視してきましたが、現在の社会情勢や世界の動きを見るとオンライン授業の推進も必要不可欠だと考えています。

(小島委員) デジタル化について中国等と比較した際の日本の遅れを考慮すると、GIGAスクールを推進することは非常に重要なことだと思います。教育現場でICTを活用することで、教師の負担軽減にもつながりますか。

(近藤教育総務課長)

コンピュータに不慣れな教師もいるため慣れるまでは大変な部分もあると思いますが、授業の準備や事務処理をする際に簡略化されますので、将来的には負担軽減につながると考えられます。

(小島委員) 下野市議会では議員に一人一台タブレットを配備したことや、国勢調査の下野市でのインターネット回答率が暫定で49.9%であったことから、ICT活用の潜在能力が高いと推測できます。そのため、地域全体でICTを推進し、子どもと一緒に学び、子どもは親からも教えてもらえる状況にすべきだと思います。行政にはそういったプロデュースをしていってほしいです。

(清水教育次長)

合併後の平成19年から小中学校のネットワーク化を進めていました。その時から教師については一人一台コンピュータを配備しており、県内でも先駆けて取り組んでいたため、ある程度のデジタル化には対応できると思います。

(角田委員) 9月補正を行い、5,300台のタブレットを令和2年度中に配備するとしていますが、間に合いますか。

(近藤教育総務課長)

業者選定は行っており、議会の承認を得られれば令和3年3月に導入できる予定です。

(角田委員) 約5億円の財源が必要になりますが、国からの補助等がありますか。

(近藤教育総務課長)

1台4万5,000円を上限に国の補助を受けられます。全台数ではなくおよそ3分の2程度の台数とはなります。

(橋田委員) 情報機器の入れ替えの際に、質を維持しつつ経費削減を行ったようですが、どのような方法で削減しましたか。

(近藤教育総務課長)

以前は機器の調達と設定を同時発注していたところ、参入できる業者が限られていました。機器の調達と設定を別にしたところ、多くの業者が参入できるようになり、競争力が働いたことにより経費削減につながりました。

(橋田委員) 情報機器の選定について、5, 300台は確定ですか。

(近藤教育総務課長)

業者とは仮契約しており、議会の承認により確定となります。

(小池委員) 端末の導入後の、ソフト面の変更や更新等に対する毎年の経費については、どの程度見込んでいますか。

(近藤教育総務課長)

導入後の通信費用を年間1, 200万円程度計上しています。

## ②第77回国民体育大会栃木大会開催事業

[所管課自己紹介]

[資料に基づき説明]

(蓮見委員) 大会運営は、今までの大会を参考に行っていくと思いますが、大会後にボランティア団体が大会の遺産として新しく取組を行うような支援等を行う予定ですか。

(若林スポーツ振興課長)

ボランティアについて、子どもから高齢の方まで幅広く募集を行い、多くの方に大会に携わってもらいたいと思っています。具体的な取組はまだありませんが、大会後も何か残るようなことを考えていきたいと思っています。

(宮下委員) コロナウイルス感染症の影響により、満身にスポーツを楽しんでいる方は少ないと推察しています。おそらくコロナウイルス感染症が縮小傾向にある中で最初の大きな大会となると思われることから、盛大な大会となり、新しいつながりが生まれるような事業となると良いと思います。

(若林スポーツ振興課長)

鹿児島国民体育大会は延期となりましたが、栃木国民体育大会は開催予定となっています。しかし、今までのように大人数集めて開催することは困難かと思えます。特に室内での競技については対策をしつつ取り組んでまいりたいと思っています。

(宮下委員) 体育館を利用することがあると思いますが、換気の不十分な体育館では循環型エアコンの中央ダクトに紫外線を照射することでウイルスや細菌を死滅させることができるということがあります。また新型コロナウイルスを不活化させるといわれており設備面での対策も検討していただきたいです。

(若林スポーツ振興課長)

県と協議しながらコロナ対策を進めていくこととしています。現段階では、アルコール消毒や体温チェックを予定しています。設備等については、費用の問題もありますので、県と協議しつつ検討していきたいと思っています。

(小島委員) 栃木県は都道府県魅力度ランキングで最下位となったこともあり、メインは競技だと思いますが、県や市の魅力を上げるような取組は検討していますか。

(坂巻主幹) 魅力度ランキングに対する本事業への県からの通知はありませんが、大会はおもてなしをする必要もあるので、すべての会場でおもてなし料理をふるまうことや無料ドリンクを提供することなどを予定しています。

(小島委員) 魅力度についてはこだわらなければならないと思いますので、栃木県は良いところだという印象をもってもらえるよう取組んでいただきたいです。

(中村会長) 現状、大会の認知が低いと思いますが、今後 PR により認知度は向上していくと思いますか。

(若林スポーツ振興課長)

本来であれば、今年度から積極的に PR していく予定でしたが、コロナウイルス感染症の影響により控えていました。来年はリハーサル大会もあることから、徐々に PR していきたいと思います。

(宮下委員) 実際の競技を観戦することは現状困難だと思いますので、競技のルールや注目ポイント等について事前に周知していくことがあってもいいかもしれません。

(若林スポーツ振興課長)

現在、大会専用のホームページを作成していますので、そこで今後周知していければと思います。

(宮下委員) サッカーゲームアプリはありますが、ハンドボールアプリは見たことがないので、作成してみるのもいいかもしれません。

(若林スポーツ振興課長)

茨城国民体育大会を視察した際、ハンドボール大会を見ましたが、試合を間近で見ると迫力がありおもしろいと感じました。そのため、来年度は社会人チーム等を招聘して間近で見られる機会をつくっていききたいと思います。

(中村会長) 下野市出身の選手等がいた場合は、選手養成や PR 等を行っていきますか。

(坂巻主幹) 選手の強化育成等は県で行っていますが、下野市出身の選手がいる場合は取材等も行っていきたいと思います。

(手塚委員) ハンドボールの会場はどこですか。

(若林スポーツ振興課長)

大松山運動公園にある石橋体育センターになります。

(手塚委員) 観客席は最大でどの程度ありますか。

(若林スポーツ振興課長)

大会の際は、床から3段の仮設席を設ける予定です。

(坂巻主幹) 間を空けるようなコロナウイルス感染症の対策をしない場合には250人収容できます。さらにコロナウイルス感染症のための対策をするとさらに収容人数が減る予定ですので、今後対応を検討していく予定です。

(中村会長) 国民体育大会を開催するからこそ施設が充実することもありますよね。

(若林スポーツ振興課長)

大松山運動公園の陸上競技場についても新しく整備し、天然芝を設けてあります。

(小島委員) ハンドボールは石橋体育センターのみですか。他の体育施設も利用すれば観客もより多く収容できると思います。

(若林スポーツ振興課長)

下野市では石橋体育センターのみです。

(坂巻主幹) ハンドボールのコートは比較的大きいので、下野市だと石橋体育センターでしかできません。

(蓮見委員) ワクチンができないため、開催も難航する部分もあると思います。下野市はハン

ドボールとサッカーを開催する中で地域の特色を出しつつ頑張っていたか  
いです。

(中村会長) オリンピックなどのコロナウイルス感染症の対策等も情報収集しますか。

(若林スポーツ振興課長)

様々なスポーツ大会が開催され始めていくと思いますので、適宜参考にしていき  
たいと思います。

(中村会長) 国民体育大会と呼ばれる大会は栃木が最後と伺っています。節目の大会としてイ  
ンパクトがあるようになると良いと思います。

### ③通学路安全施設整備事業

[所管課自己紹介]

[資料に基づき説明]

(蓮見委員) グリーンベルトがあるところに駐車は可能ですか。道路利用者にとっては毎日の  
運転に影響することであるため、路上駐車への配慮があったほうが良いと思いま  
す。また、ガードパイプについて、他の自治体等では、継ぎ目の部分が尖ってい  
たりして危険な場合があると伺ったことがあります。下野市ではガードパイプ設  
置後のガードパイプ自体の安全管理等は行っていますか。

(保沢建設課長)

道路交通法では、グリーンベルトがあることによって駐車禁止となるようなこと  
はありません。ガードパイプについて、時速30kmほどで侵入してきた際のクッ  
ション材となるものです。ガードパイプの安全管理について、破損等が見受けら  
れれば適宜修理し、事故等があった際には、事故を起こした方に修理していただ  
いています。

(小池委員) 通学時間帯の1時間程度について駐停車禁止にすることや、デイサービス等福祉  
関係で駐停車する場合の容認等について、警察への要望等はできますか。

(保沢建設課長)

警察や福祉部門との協議を検討していきたいと思います。

(小島委員) 昨日の11月18日で、鹿沼市クレーン車暴走事故から5年が経過しており、当  
時多くの児童が被害に遭われました。そのことから本事業のような取組が重要視  
されてきていると思います。通学路安全施設の整備について、いつから始めてい  
ましたか。

(保沢建設課長)

石橋地区では合併以前から行っていましたが、本格的に始めたのは平成28年  
度からになります。

(小島委員) 安全プログラム対策箇所図を見ると、対策箇所がよく分かるので、委員会でも提  
供してもらえればよかったですと思います。

(川俣委員) 緑小周辺について、県道には歩道があるのにわざわざ歩道のない道路を通学路に  
していることに理由はありますか。歩道のある道路のほうが安全だと思います。

(瀧澤建設水道部長)

教育委員会での考えを推察しますと、交通量の多い県道を通らせないほうが良い

という考えがあると思われます。今後、教育委員会と協議をしていく必要があると思います。

(川俣委員) なるべく安全な歩道を通学路とすることで、グリーンベルト等の整備費用も減ることから検討していただきたいです。

(瀧澤建設水道部長)

学校側と協議、検討を進めていきたいと思います。

(中村会長) グリーンベルトやガードパイプの設置箇所はさらに増やしていく必要があるのですか。

(保沢建設課長)

設置箇所については、下野市通学路安全推進会議で挙がってきた箇所を予算計上して整備しているところであるため、残りの設置箇所については把握していません。現在は通学路を整備していますが、市民が通行する道路についても今後は必要になってくるかもしれません。

#### ④商工業振興事業

[所管課自己紹介]

[資料に基づき説明]

(蓮見委員) 本事業について、商工と観光と農業を連携した取組について考えはありますか。

(栃本産業振興部長)

他課との連携について、まだ始めたばかりですが、総合政策課での石橋駅前の活性化事業を商工業との連携として取り組んでいます。農業、観光での連携としては、農政課にて農業分野での働き手確保のための取組を行っており、観光としても観光協会と連携を図り、様々な事業を行っています。

(小島委員) 必要性、有効性、効率性すべて B 評価であり、総合評価が見直し実施となっていますが、どのような見直しを検討していますか。

(松本課長補佐)

必要性、有効性、効率性について、どれも重要視して事業を推進していますが、チェック項目で付けられない項目があったため B 評価となっています。必要性のチェック項目として、「市民・団体・議会等から要望・要請がある」の項目として、本事業は市が自発的に行っているものであるためチェックを付けていません。商工業は社会情勢の影響を受けやすい分野であるため、適宜必要なことや有効的な方法を考慮しつつ進めてまいりたいと思います。

(小島委員) 道の駅しもつけでおいしくて魅力ある商品、例えば「山口さんちのミニトマト」は人気が高くすぐ売り切れてしまうことがあります。そのことから、魅力ある商品づくりに特化していくのも良いかもしれません。

(伊澤商工観光課長)

本事業とは別になりますが、下野ブランド制度を設けており良い商品等をブランドとして認定し、PR しています。今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。

(小池委員) 駅周辺に空き店舗がありますが、空き店舗に新しく飲食店等が入っても収益の状

況によってはすぐ撤退してしまうため、補助金だけでなく、店舗オープン後のサポート等についても取り組むことで、東京圏から来る人や定年後の方などは行動しやすくなるのではないかと思います。

(伊澤商工観光課長)

市内には2つの商工会有り、そこと連携し、新規開業や新規参入を検討している人を対象に創業塾を毎年開催しています。引き続き連携を図り、支援策を検討していきたいと思います。

(川俣委員) 工業誘致奨励金について、平成30年度の実績では、2件で約1億円、平均すると1件5,000万円ですが、令和元年度実績は3件で約5,000万円であることから、大幅に下がっていますが、どのような計算方法ですか。

(伊澤商工観光課長)

平成28年度に西坪山工業団地内に電子関連の企業が立地しました。整備計画の変更により、平成30年度に平成29、30年度分を支払い、令和元年度には単年度分の交付をしたことから、令和2年度の交付額が少なくなっています。詳細については、添付資料の「下野市工業誘致奨励金について」をご参照ください。

(手塚委員) 産業祭について、南河内球場で行っていますが、駐車場の狭さ等の問題があることから、大松山運動公園等に変更できませんか。集客力の向上にもつながると思います。

(伊澤商工観光課長)

当初は大松山運動公園で開催していましたが、改修工事の期間、南河内球場に変更していました。令和2年3月に改修が終わりましたので今年度から大松山運動公園で開催予定でしたが、コロナウイルス感染症の影響によりWEB産業祭として開催しています。

(蓮見委員) 道の駅しもつけを中心に商工業や農業、観光等を連携したエリア周遊イベント等を行い、体験イベント等も含めると良いと思います。

## ⑤産業団地整備推進事業

[所管課自己紹介]

[資料に基づき説明]

(蓮見委員) 大企業や優秀な企業等を誘致するためには、市のトップセールスが必要になると思います。また、既存の工業団地について、現状どのような状態か、また当初の計画どおりに企業が事業を実施しているのか把握するための調査を実施し、今後につなげていく必要があると思います。

(伊澤商工観光課長)

産業団地の整備として、交通の利便性と災害等に強いエリアであることが重要となっています。本地区も新4号国道付近であり、高台に位置するエリアとしています。また、トップセールスについて、栃木県では知事自ら東京、大阪等でPRしています。今年度については、市長についても東京等でPR活動を行う予定でしたが、コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。今後もトップセールスによる企業誘致の推進を行っていききたいと思います。

(小島委員) 第二次下野市産業振興計画を読んだら、理念等がしっかりしており、また自治医科大学へアンケート調査も行っていることが記載されています。今後は自治医科大学という資源を活かし、医療ケアや医療機器等、医療関係に特化した誘致を行うように仕向けていくことも必要かと思います。

(伊澤商工観光課長)

本事業の産業団地について、工業専用地域であることから病院等を誘致することはできませんが、医療関係の製造業を行っている企業の誘致を行うことで税収入の増加や雇用の拡大につながることから推進していきたいと考えています。また、立地企業連絡協議会では、自治医科大学や小金井中央病院、石橋病院も会員として参加しており、毎年交流会を行っているため、その点も活用していきたいです。栃木県土地開発公社には、造成だけでなく企業誘致も行ってもらおう方向で考えており、専門的な知見を得ながらトップセールス等による誘致を行ってきたいです。

(宮下委員) 今後の社会需要を考えると、IT 製品やロボット産業に関連した企業を誘致していくことで発展につながると思うので、ぜひ検討していただきたいです。

(伊澤商工観光課長)

電子機器を扱う企業も立地していますので、そういった企業との関連性も考慮しつつ誘致していければと思います。

(手塚委員) 市道 1 - 16 号線は工事完了して新 4 号国道まで通っていますか。

(伊澤商工観光課長)

西坪山工業団地のメインの道路であり、新 4 号国道まで通っています。北に行くと T 字路になっていますが、区画整理により将来的には開通となります。

(手塚委員) 整備にあたって自然環境調査を行っていると思いますが、その報告書は見ることはできますか。

(伊澤商工観光課長)

可能です。整備地内の西側に 2.7ha の緑地を残し、レッドリストに掲載されている植物についてはそこに保存していく予定です。

(中村会長) 下野市は文化財も豊富にあることから、整備地内に新たに文化財が出土しないか心配があります。

(伊澤商工観光課長)

北と南と中心の 3 か所が保蔵地となっており、2 か所について調査したところ重要な文化財は出土しませんでした。

(小池委員) 整備後の残置森林と調整池の管理は市で行いますか。

(伊澤商工観光課長)

市で管理します。

(小池委員) 管理の際に残置森林や調整池のジオトープによる景観保全等についても行う必要はありますか。

(伊澤商工観光課長)

現状では具体的な協議等はありません。

(宮下委員) 南河内町では緑多いまちがビジョンの一つであったと思います。以前から暮らし

ている市民はその認識もあると思いますので、緑の保全についても検討を進めていただきたいです。

(伊澤商工観光課長)

工場立地法により進出してきた企業は緑地を5%残さなければならず、加えて環境保全のためさらに5%残さなければならない法律の定めにより、合計10%の緑地を残さなければなりません。一定の緑地面積を残したうえで整備を進めていきたいと思います。

(宮下委員) 法律の定めによる環境保全はもちろんのこと、加えてまちの変遷を考慮して進めていただきたいと思います。

(栃本産業振興部長)

南河内町でのビジョンとしての緑地の話題がありましたので、市全体での緑地について説明します。下野市での緑の基本計画は改定時期を迎えています。既に南河内町でも策定していたため、それを引き継ぐようなかたちで策定を進めています。緑の保全については、まちの形成とのバランスを考慮しながら事業を進めていきたいと思います。

### (3) 全体協議

(宮下委員) 通学路安全施設整備事業について、グリーンベルトの内容がありましたが、どの地域でも緑のラインが引かれており、安全が第一ではありますが、景観を損なうような感覚もありました。また、高齢者の運転技術の低下による事故においても道路幅に一定の圧迫感があることで、スピードを落とした運転にもつながり、事故防止につながるような気がします。

(小島委員) 今回の5事業について、ヒアリング資料のほかに参考資料が多々ありました。1事業30分のヒアリングを最大限有効にするために、例えば事務局で必要となりそうな資料の追加を所管課に伝えるなどしてもいいかもしれません。また、分からないことは事前に所管課に問い合わせしておく必要もあると思います。

### (4) その他

(事務局) 本日の議事録は作成次第、配付いたします。次回委員会は12月18日になります。市民評価シートのとりまとめが終わり次第、開催通知等を送付いたします。

(中村会長) 本日予定されていた議事はすべて終了したため、事務局に進行をお返します。

### ○閉会

(事務局) 以上で、令和2年度第3回下野市行政改革推進委員会を閉会いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長

署名委員

署名委員